

YAMAHA

NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-5

取扱説明書

音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

このたびは、ヤマハスピーカーシステムNS-5をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NS-5の性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください。

使用上のご注意

本機を最良の状態でお使いいただくため、下記の項目は必ずお守りください。



スピーカーシステムの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、スピーカーにミュージック許容入力以上の過大入力が入らないようにご注意ください。



キャビネットやスピーカーユニットの変色・変形を防ぐため、直射日光や湿気の多い所でのご使用はできるだけ避けるようにしてください。



設置場所は、転倒などの事故が発生しないしっかりと安定した場所を選んでください。音質的にも効果的です。



キャビネットに水気及びアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などをかけたり、ビニール系の敷物類を乗せないようご注意ください。色のはげたり貼り付いたりします。お手入れは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、接続をまちがえないようアンプの取扱説明書で確認してください。



アンプのトーンコントロール(BASS, TREBLE等)やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号(テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音)を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対におこなわないでください。



本機は、防磁型設計となっておりますが、万ーテレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じるときや、テレビからのノイズを拾うときは、テレビとスピーカーの距離を離してご使用ください。



スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えたりしないようご注意ください。変形させたりしますと、音が歪むことがあります。



購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万ーサービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管してください。

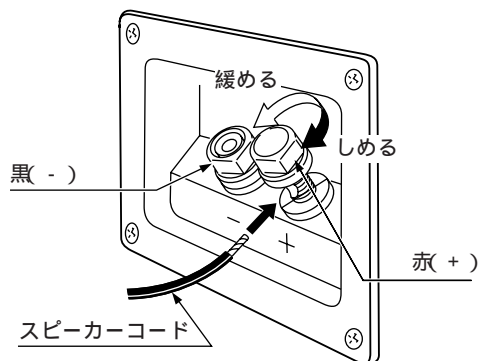
アンプとの接続

接続する前に

スピーカーシステムとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

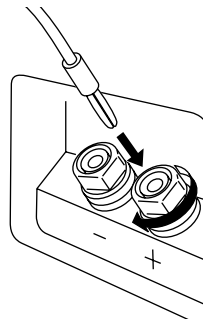
接続方法

1. 左チャンネルのスピーカーはアンプのスピーカー①端子に、右チャンネルのスピーカーはアンプのスピーカー②端子に、それぞれ極性(+、 -)を確認して接続します。左右のスピーカーの極性を間違えると、低音がそこなわれた不自然な再生音になってしまいます。
2. スピーカー背面のネジ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。スピーカーコードの先端の絶縁部を10mm位はがし、芯線がばらつかないようにしっかりとねじります。スピーカー端子のツマミを左(反時計回り方向)に回して緩め、下図のように端子穴にスピーカーコードの芯線部分を差し込みます。ツマミを右(時計回り方向)に回してしめつけます。



バナナプラグの場合

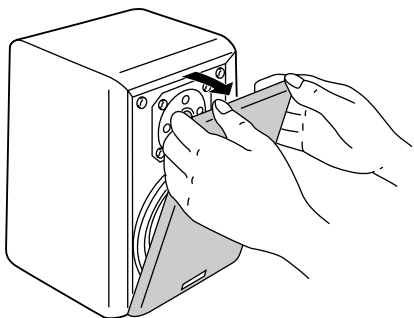
バナナプラグを使用する場合は、端子を強くしめてから差し込んでください。



フロントカバーの着脱

フロントカバーは取りはずすことができます。
フロントカバーの着脱は次のようにおこなってください。

1. フロントカバーの上側を両方の手で持ち、手前に軽く引いてフロントカバーの上側をはずします。
2. 同じようにフロントカバーの下側を手前に軽く引くと、フロントカバーは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、フロントカバーの四隅にある突起部と本体の四隅にある穴を合わせて、軽く押し込みます。

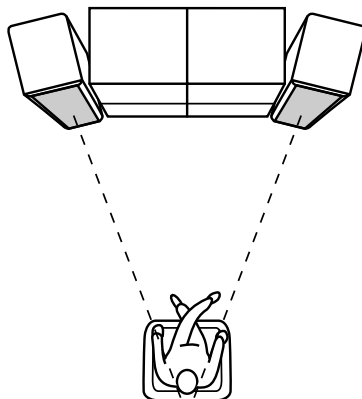


ご注意

- フロントカバーの四隅以外を押さえないでください。スピーカーユニットを変形させるおそれがあります。
- フロントカバーをはずした状態では、特にスピーカーユニットに手を触れたり、無理な力が加わらないように注意してください。

設置について

- しっかりした固くて水平な面に置いてください。直接床に置いて低音域がこもったり量感が得られない場合は、床とスピーカーシステムとの間にブロックや厚めの木の板などを置いてください。
- 本機はバスレフタイプのスピーカーです。壁から少し(10cm程度)離して設置することをおすすめします。
- スピーカーシステムを少し内側に向けると、音像の定位感がよりよくなることがあります。

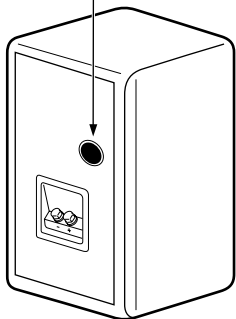


参考仕様

タイプ	2ウェイバスレフ型、防磁型 (EIAJ)
スピーカーユニット	13cmコーン型ウーファー (JA1302) × 1 ツイーター (JA05C6) × 1
入力インピーダンス	6Ω
再生周波数帯域	55Hz ~ 30kHz (- 10dB)
許容入力	40W
ミュージック許容入力	80W
出力音圧レベル	90dB/W・m
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	206mm × 338mm × 250mm
重量	6.5kg
付属品	スピーカーコード(4m) × 2

仕様および外観は予告なく変更されることがございます。

バスレフ用ダクト



本機の背面にはバスレフ用ダクト(穴)があります。ダクトをふさいだり、中に物を入れたりしないようにしてください。不自然な音になったり、故障の原因になります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- 保証期間
お買い上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み
技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 修理可能の範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- 補修用性能部品の最低保有期間は
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点
(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預り窓口)

北海道 〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台 〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
新潟 〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
首都圏 〒211	川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
浜松 〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL(053)465-6711
名古屋 〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪 〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL(06)877-5262
広島 〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL(082)874-3787
四国 〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL(0878)22-3045
九州 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

お客様ご相談窓口
(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

東京 〒108	東京都港区高輪2丁目17-11 TEL(03)5488-5491 TEL(03)5488-5492
名古屋 〒460	名古屋市中区錦1丁目18-28 TEL(052)232-5740
大阪 〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル TEL(06)647-6411
本社 〒430	浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL(053)460-3409

YAMAHA

ヤマハ株式会社

〒430浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL(053)460-3451

品質保証室 TEL(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。